



地域体験プログラム
フルドノタイム2024 4/6 開幕!

古殿町を活性化するなら交流人口を増やしていかなければ!
けど、この町には鎌倉岳や流鏑馬くらいしかないじゃないー!?
地元のほとんどの人がそう思っていた、というのは過去のこと。
なぜなら、いま古殿町には「フルドノタイム」があるんです!!

事務局 兼 案内人
吉田チエミさん
(古殿町地域おこし協力隊)

いちど来たら、病みつきに？
リリース直後に満員続出！

参加する人と迎える人がいつしょになつてモノづくりに没頭したり、体を動かしたり癒したり、おいしい食事を作つて食べたり、

わくわく♪ログラム満載！
絶対トリコにしてみせます！

参加する人と迎える人がいつしょになつてモノづくりに没頭したり、体を動かしたり癒したり、おいしい食事を作つて食べたり、爆笑したり！「フルードノタイイ」は町に暮らす人たちが案内人になって、古殿町の魅力を伝える体験型イベントです。開催期間は約1か月間。2024年は、2月に過去最多の30プログラムがリリースされ、参加募集をスタートしました。「また行きたい！」というリピーターに加えて、折込チラシ、地元小学校への募集チラシなどで告知を広げた今回、リリース直後から満員御礼のプログラムが続出！開催直前のいま、町の担当者は、「予約なしでも参加や見学ができるプログラムもありますから、気軽に遊びにきてください！町内外問わず、大歓迎！」と呼びかけています。

実行委員長 兼 案内人
矢内 賢征さん

コロナ禍の糺余曲折を経て、
500人超の交流イベントに成長

実行委員長 兼 案内人
矢内 賢征さん

「フルドノタイム」は、オンパクの手法にならう、「古殿町体験博覧会」として立ち上げられました。オンパクとは温泉泊賄会の略で、温泉地に滞在しながら、地域資源を活かしました。体験交流型のプログラムを一定期間内に集中して提供する手法のこと。地域活性化の取り組みとして全国に実績がありますが、運営スタッフ、案内人の確保、プログラム作成や受け入れ態勢など、環境を整えるには地元のたくさんの方の協力がなくてはならず、「まずは内容を理解してもらうのが大変だった」と担当者は振り返ります。

急速に広がり、直前でやむなく中止せざるを得ない事態に。それでも2022年は町民限定・一部開催と規模を縮小することで何とか開催にこぎつけました。ようやく通常開催となつた2023年は、当初12枠でスタートし、たプログラムも自薦・他薦で案内人が増えていくごとに体験数を増やし、27プログラム、参加者500人を超える交流イベントになりました。

年々アップグレード中!!

「20年前に『ソードはアーマー』が発売されたハートノタイムム募集告知を目についたことがきっかけで、東京から古殿町へやってきました。」「うーん、どう成ったの？」

The image consists of three parts. On the left is a portrait of a woman with short dark hair, wearing a white turtleneck sweater over a patterned top. In the center is a photograph of a traditional Japanese building with a tiled roof and wooden beams. On the right is a photograph of a colorful mural painted on the side of a building, depicting various figures and scenes.

て、すっごく楽しそうで。「面白そう！私もやつてみたい！」と3年前に協力隊になりました。古殿町の最初の印象は、『わっヤバっ、

もあるト「ロ」に変わりました」と吉田さん。現在は事務局の一人として、また案内人としても活躍中です。

「案内人やノンゲームは數が増えているだけじゃなく、毎年内容が入れ替わっているところも良くて、開催が終わっても町の人とお付き合いが続いている参加者も結構多いんです。観光と体験をセットにして泊まりがけでいらしたり、せっかく来たから今日のうちにおちつちつを回りた」という方もいました。

にあからさまに回りたいと云ふ方もいま

すその方には、1日で伊駒をノシニテきる日程もあります。開幕は4／6(土)から。ちょうど桜が咲き始めるころなので、越代のサクラや桜街道を楽しみながら、町のあちらこちらを巡つてフルドノ時間満喫してくださいね!」

The banner features a collage of images: a traditional Japanese scene with figures and a horse; a QR code; social media icons for Instagram and Facebook; a portrait of a woman (Yonezawa Natsuko); a portrait of a man (Kawachi Kenji); and two smaller images showing beaded necklaces and colorful hand-painted murals on buildings.